

(一) (號四十四百千一籤) 開新日每盤常 {日八月一十年二十三大可認物錢都種三第}

(可認物便郵種三箇) (號四十四百千一策)

常盤舞目新開 (金曜日)

昭和二十年十二月一日 (四)

## 小名濱修築費

本縣負擔額決定す

寄附國庫補助以外に

約九十四萬圓

去る十八日開催の臨時港灣

調査會に於て既報の如く小

名濱第二種重要港指定並に

修築に關する案が可決され

たが之れで大藏省の豫算閣

議も

無事通過すべきは

愈々明瞭となつた譯であ

る、而して本縣では来る通

常縣會に是が豫算案即ち同

港修築費約百八十八萬圓の

繼續年度施設方法を提案す

る段取であるが、多分本縣

の負擔は三百八十八萬圓の

中淺野氏の寄附額百萬圓と

半額の國庫補助百九十四萬

圓を引去り約九十四萬圓に

止まるべく之を

六ヶ年に亘つて

支出すれば良い譯であるが

政府は工事着手後三ヶ年目

から補助額を交付する事に

なる模様であるから最初の

三ヶ年間は縣の支出額が多

くなる譯である、尙右の財

源は低利の起債に求むる方

針である

無罪を主張

五人殺しの公判

石城郡内郷村大字白水大越

五平の一家五人殺し犯人鈴

木治八郎にかかる第三回公

判は十九日午後一時から福

島地方裁判長係辯田検事立

平町の上空から

軍用鳩の試験飛行

中野までの約五十里間を

井崎大尉が滯平監督

中野の電信隊では過般南裏

埋立地の町有空地に軍用鳩

運搬車を板圍ひしたる二個

の臨時鳩舎を設け軍用鳩飛

翔試験準備中の處昨十九日

午前七明より同四十分迄の

間に數回に亘つて合計三十

羽を飛翻せしめたが該軍用

鳩は既往一週間に亘り

鳩舎の外廓に板圍

ひを施し完全にその視野を

遮つて置いたので秋空高く

放たれた鳩は何れも未知の

今月下旬 同様三十

羽を飛翔せしむる筈である

と云ふが右に就て過般來滯

平監督の任に當つてゐる陸

軍通信學校附にして軍用鳩

調査委員幹事たる陸軍歩兵

因に平町に於ける試験は今

後更に本年中續行する事に

ても再びこゝへ戻つて來

て何の役にも立たぬ事に

なるからである、云々

尼子亭の

遊覽團体成

員大満足

なつてゐると

平の盜難騒

犯人未だ捕れず

來年も同様團体を募集する

筈である

茨城磐城の

兩炭礦合併

愈よ正式認可

本年四月七日付申請の茨城

採炭株式會社と磐城炭礦株

式會社との合併は去る十三

日付で内務鐵道兩大臣から

認可された